

一花芳徳 ひとひら 教育評論家。明治十九年十月二十六日東京生れ、昭和四十一年四月二十一歿（八六―一九七）。幼名九郎。號空山、白石仙彦。舊人名津達宗徳の九男、一花家を継ぎ、明治四十二年伯爵襲爵。大正二年東京帝國大學法科大學政治學科卒。内務省を経て官内省入省。十年 東宮（昭和天皇）外遊に供奉。翌年東宮職御用掛、十二年宮内省御用掛、十四年貴族院議員。昭和二年少年團日本聯盟理事長、二十九年ボーイスカウト日本連盟總コミッシヨナー就任。著書『非教育者の教育論』（一花空山名、大正六年九月、二十五日白水社）、『歐洲大戦 オーストリア 改造物語』（大正九年一月、二十日白水社）、『非教育者の教育論（空山文集・第一輯）』（大正十四年五月十五日蘆田書店）、『THE CROWN PRINCE'S EUROPEAN TOUR』（澤田節藏共著、大正十五年二月二十八日大阪毎日新聞社・東京白百合新聞社）、『新日本の自主的建設』（大正十五年四月十日東京實文館）、『昭和元年勅語謹解』（昭和二年一月十五日大阪毎日新聞社・東京白百合新聞社）、『聖徳太子 オウゴ』（昭和二年七月五日少年團日本聯盟藏版、北星堂書店）、『聖徳太子勅語謹解』（昭和十一年十月四日日本圖書株式會社）、作詞樂譜『嗚呼北白川宮殿下』（古關裕而作曲、昭和十五年十一月五日日本放送出版協會「國民歌謡」）等。

